

令和2年度事業報告

令和2年度は、

- ・日常生活で困難を抱える世帯を支援するための「生活支援事業」の実施
- ・地域での「ふれあいいいききサロン」の開催による生活不活発病予防・閉じこもり等孤立の防止
- ・住民相互の支え合いによる「地域コミュニティネットワークの構築」や「生活支援体制整備事業」等の実施
- ・高齢者・障がい者等の「見守りや社会参加活動」の促進及び「権利擁護や成年後見制度」の利用周知
- ・放課後児童の健全育成や遊び場づくりのための「放課後児童クラブ」の実施
- ・生活に困りごとや不安を抱えている「生活困窮者に対する相談支援」の実施

などを行い、既存事業の向上に努めながら、関係機関や団体との連携を図り、村民誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる、地域社会づくりを進めるための事業推進に努めた。

【実施事業の概要】

1 ボランティアセンターの設置・運営

- (1) ボランティアの受入れや活動の状況
 - ・活動総人数 0人、0団体（前年275人、18団体）
※新型コロナウイルス感染症の影響により活動希望等なし
- (2) 有償ボランティア事業の試行
 - ・活動者説明会 6回、参加者15人（登録6人）
 - ・依頼人登録 1人
- (3) ボランティア活動保険の助成（99人分）

2 生活支援事業【別紙1参照】

災害公営住宅等で生活する世帯や日常生活の支援が必要な世帯に対し、見守り・相談・支援体制を構築し、必要な福祉ニーズを把握することに努めた。

また、生活支援相談員を2人配置し、行政や関係機関等との情報共有や同行訪問など連携を図り、要援護世帯や気になる世帯に対する定期的な訪問や情報提供と、サロン活動や住民支え合いマップの作成による課題抽出や解決の模索などを行った。

- (1) 対象（見守り）世帯の状況（R3.3.31現在）
 - ア 災害公営住宅 16世帯（うち65歳以上高齢世帯 12世帯）
※門前小路第1・第2、南浜高台、下安家高台、本町・旭町、新町
 - イ 再建世帯等 11世帯（うち65歳以上高齢世帯 11世帯）
ア～イ合計… 27世帯（うち65歳以上高齢世帯 23世帯）
- (2) 支援実施回数 ア～ウ合計 93件（前年230件）※延べ件数
 - ア 訪問 75件（前年176件） ウ 来所 11件（前年45件）
 - イ 電話 4件（前年 9件）

(3) 相談内容 ア～コ合計37件(前年84件)

ア 日常生活	2件(前年 7件)	カ 法律・制度	1件(前年 1件)
イ 健康・保健医療	17件(前年29件)	キ 地域活動	0件(前年 2件)
ウ 家族	1件(前年12件)	ク 社会的関わり	3件(前年 6件)
エ 住居	3件(前年 0件)	ケ お金	1件(前年 4件)
オ 介護・就労	2件(前年 8件)	コ その他	7件(前年15件)

(4) 交流促進活動等

ア サロン活動	110回、参加899人(前年36回、参加383人)
イ 支え合いマップ活動	1地区1回、参加6人
ウ 災害公営住宅と地域の交流活動	26回、参加237人
エ その他の活動	79回(連絡調整、会議、研修)

3 ふれあいいきいきサロン事業

関係機関や団体と連携しながら、地区公民館等でサロンを開催し、高齢者等の閉じこもりや孤独感の防止のほか、健康・生きがい作り等を行った。

(1) 地区サロン開催状況【別紙2参照】

- ・開催回数 19カ所、312回(前年21カ所、416回)
- ・参加者数 2,404人(前年3,576人)
- ・実施内容 茶話会、健康相談、料理・おやつ作り、百歳体操、寄せ植え、軽スポーツ・ゲーム、創作活動など

4 地域福祉活動

- (1) 第13回野田村社会福祉大会の開催(被表彰者等37人出席、生涯学習センター)
- (2) 社会福祉協力校の指定及び連携(野田小学校、野田中学校、久慈工業高校)
- (3) 被災地コミュニティ支援員の配置(1人)
- (4) 日常生活自立支援事業(あんしんねっと)の推進(実利用者2人、生活支援員2人)
- (5) 生活困窮者自立支援制度(生活あんしん相談室)との連携
- (6) 野田村地域支え合い活動(歳末)助成の実施(14団体、助成総額657,000円)
- (7) 野田村スポ少・部活・課外活動応援助成の実施(5団体、助成総額68,000円)
- (8) 野田村地域福祉活動計画の推進

※第7回野田村ボランティアまつりはコロナウィルスの影響を考慮し中止

5 高齢者福祉活動

(1) 在宅福祉事業の推進【別紙3参照】

- ア 紙おむつ券給付 延べ293枚(前年317枚)
- イ 車いす貸出 23件(前年16件)
- ウ 見守り通報事業 利用者数8人(前年11人) ※青森県社協(福祉安心電話)との連携

(2) 男子ごはん塾の開催 年2回、延べ14人(前年58人)

(3) 生活支援コーディネーター(1人)の配置【別紙4参照】

- ア 生活支援協議体会議や地域ケア会議等、研修会への出席(全56回)
- イ 65歳以上世帯への日常生活調査の実施及び対象世帯への訪問(115世帯)

- ウ 地域課題の把握及び対応等（相談対応5件、情報共有4回）
- エ 地域資源一覧の作成、配布及び「まぶる隊」の広報周知
- オ いきいき百歳体操の実施（42回） など

(5) 通院支援バスの試験運行【別紙5参照】

- ア 運行回数 11回（1/20～、1日1往復、毎週水曜日）
- イ 利用人数 22人（利用者19人、付添者3人）
- ウ 医療機関 久慈市内5機関

6 障がい（児）者福祉活動

(1) 障がい者の社会参加や自立支援のための援助、情報提供

※障がい者スポーツ大会や結いっこ講演会等はコロナウィルスの影響で中止

7 母子・父子・寡婦福祉活動

- (1) 母子寡婦福祉協会運営への援助、協力
- (2) 母子父子寡婦福祉資金等に関する情報提供

8 児童福祉活動

- (1) 玉川児童館の指定管理受託
- (2) 放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の実施【別紙6参照】
 - ア 場所 玉川児童館（玉川児童クラブ）、総合センター（城内地区児童クラブ）
 - イ 体制 児童支援員5人（玉川2人、城内地区3人）
 - ウ 実施日数、時間
玉川 289日、1,659時間、城内 289日、1,659時間
 - エ 児童等の年間利用人数
 - ・玉川（登録17人）1,656人、1日平均 5.7人（前年 6.3人）
 - ・城内（登録66人）6,579人、1日平均 22.3人（前年18.7人）
- (3) 野田キッズセンター事業との連携（登録者の参加、施設利用等） など

9 要援護世帯等福祉活動

- (1) 要援護世帯等に関する調査（生活支援相談員と民生児童委員協議会等との連携）
- (2) 低所得世帯等への更生援助活動の実施
 - ・生活あんしん相談室との連携
 - ・生活福祉資金及びたすけあい資金の貸付、償還に関する相談等
 - ・生活福祉資金相談員配置（1人）
- ア 貸付件数 39件（償還中含む）
- イ 相談対応件数 63件
- (3) 心配ごと相談所の開設【別紙3参照】
 - ア 開設日数43日
 - イ 相談件数20件

10 福祉関係団体支援活動

- (1) 岩手県共同募金会野田村共同募金委員会事務の受託、実施
- (2) 野田村民生児童委員協議会事務の受託、事業運営への協力
- (3) 野田村老人クラブ連合会事務の受託、事業運営への協力
- (4) 野田村身体障害者協議会事務の受託、事業運営への協力
- (5) 野田村母子寡婦福祉協会事務の受託、事業運営への協力

11 企画・調査、広報活動

- (1) 野田村民生児童委員協議会等との連携を図りながら、要援護者等の情報収集、事業企画に努めた
- (2) 広報紙の発行のほか、ホームページやブログの開設等によるボランティア情報や実施事業等の情報発信を行った

12 その他の福祉活動（連絡調整等）

- (1) 共同募金運動への協力
- (2) 久慈地区広域社協連絡協議会との連携による広域的活動への参加
- (3) 各種福祉大会や研修会への参加、会議への出席
- (4) その他関係機関、団体との連携、連絡会議（地域ケア会議、生活支援事業連携会議、生活支援協議体会議、生活困窮者自立支援調整会議など）

13 会務の運営

- (1) 理事会の開催
 - 第1回 令和2年6月5日 理事6人、監事2人
(R1事業報告、R1決算、定時評議員会開催日程)
 - 第2回 令和2年12月16日 理事5人、監事2人
(R2第1次補正予算、R2歳末たすけあい募金助成、評議員選任・解任委員の選任、評議員会開催日程)
 - 第3回 令和3年3月18日 理事5人、監事2人
(R2第2次補正予算、R3事業計画、R3予算、評議員会開催日程)
- (2) 評議員会の開催
 - 第1回 令和2年6月22日 評議員6人、会長、監事2人
(R1事業報告、R1決算)
 - 第2回 令和2年12月25日 評議員6人、会長
(R2第1次補正予算)
 - 第3回 令和3年3月26日 評議員8人、会長
(R2第2次補正予算、R3事業計画、R3予算)
- (3) 監事会(定期監査)の開催
 - 第1回 令和2年5月15日 監事2人 (決算監査)
 - 第2回 令和2年7月20日 監事2人
 - 第3回 令和2年10月27日 監事2人
 - 第4回 令和3年2月4日 監事2人